

科目名	論理国語	学年類型	3年	単位数	4単位	話すこと 聞くこと	
単元名	文章の要旨を把握しよう					書くこと	
教材	新納泉「原始社会像の真実」					読むこと	○
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。(2)イ)		「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要旨を把握している。(B読むこと(1)ア)		ピラミッドチャートを用いて文章の要旨を把握することを通して、本文における具体と抽象・例と論の関係を捉えることを粘り強く行う中で、自らの学習を調整しようとしている。			
主たる言語活動							
ピラミッドチャートを用いて文章の要旨を把握する							

時間	授業のねらい・学習活動	重点項目			評価の方法
		知	思	態	
1	本文を読み、論の展開の特徴を捉える。 ①「原始社会像の真実」本文を通読する。 ②本文において、具体と抽象の関係を用いて論を展開していることに気付く。	○			・記述の点検(学習ノート)
2	論理の展開を意識し、要旨を把握する。 ③論理を整理するツールとしてピラミッドチャートがあることを知る。 ④具体と抽象を意識しながらピラミッドチャートを完成させ、文章の要旨を把握する。 ⑤本文を200字程度で要約する。 ⑥ピラミッドチャート及び要約文をペアで共有し、要旨を確認する。		◎	○	・記述の分析(ピラミッドチャート、要約文)
3	相互に評価し合う・学習を振り返る。 ⑦ピラミッドチャート及び要約文を相互に読み合い、要旨を確認する。 ⑧振り返りアンケートに記入する。			◎	・記述の確認(振り返りシート)

具体と抽象を可視化し、論を整理する思考ツールとしてピラミッドチャートを用いた。

※重点項目の欄について、指導に生かす評価には「○」を、記録に残す評価には「◎」を付す。

ルーブリック

	A	B	C
思考・判断・表現	具体と抽象・例と論を踏まえ、本文の要旨を把握している。	本文の要旨を把握している。	本文の要旨を一部把握している。
改善案			

次年度への申し送り事項